

安城市内景況調査結果 (平成30年1月～3月)

< 全産業において業況判断は上昇していく見通し >

1. 調査対象 対象企業数 会議所役員・会員事業所 103企業

2. 調査対象時期 平成30年1～3月期

(1)前年同期(平成28年1～3月)と比べた今期の状況

(2)今期と比べた来期(平成30年4～6月)の先行き見通し

3. 企業数内訳

	製造業	小売・卸業	建設業	サービス業	計
企業数	25	26	16	36	103
構成比	21.8%	25.7%	19.8%	32.7%	100.0%

安城市内の今期の業況判断DIを詳しく見ると下記の表のとおり、△7.7ポイントとなった。業況判断の前回実績(△6.9)と比較すると0.8ポイントの減少であった。来期の業況判断においては全産業ともに上昇が見込まれる。しかし、依然として人員不足の状態が続いていく見通しである。

	前年同期比 (前回)	前年同期比 (今回)	来期の 見通し
業況判断	△6.9	△7.7	10.6
売上高	△5.8	△7.8	5.8
売上単価	△6.9	△17.4	△3.9
資金繰り	△9.9	△2.9	△3.9
借入難度	3.9	6.8	6.0
収益状況	△6.9	△14.6	△5.8
雇用人員	△39.6	△50.5	△38.8

凡例▶

30以上 10を超える 10～△10 △10を超える △30以上

		全産業									
		製造業		小売・卸業		建設業		サービス業			
前年同期対比	業況判断	△7.7		△8.0		△19.3		0.1		△3.1	
	売上高	△7.8		△4.0		△15.3		△12.4		△6.2	
	売上単価	△17.4		△16.0		△19.2		△12.5		△21.2	
	資金繰り	△2.9		4.0		△19.2		18.8		△9.1	
	借入難度	6.8		16.0		7.6		37.6		△3.1	
	収益状況	△4.6		△24.0		△19.2		18.7		△21.2	
	雇用人員	△50.5		△48.0		△33.8		△75.0		△45.5	
来期の見通し	業況判断	△10.6		20.0		△7.7		18.8		12.0	
	売上高	△5.8		12.0		△7.6		6.3		12.0	
	売上単価	△3.9		△8.0		△15.4		25.0		△6.1	
	資金繰り	△3.9		12.0		△15.4		6.3		△12.2	
	借入難度	6.0		12.0		△11.5		31.3		3.0	
	収益状況	△5.8		△16.0		△15.4		12.6		△3.0	
	雇用人員	△38.8		△40.0		△23.1		△56.3		△42.5	

※DIとは、「ディフュージョン・インデックス」(景気動向指数)の略で、各調査項目について「増加」(好転、やや好転)した企業割合から、「減少」(やや悪化、悪化)した企業割合を差し引いた値である。例えば、売上で「増加」25%、「不変」60%、「減少」15%の場合のDIは、25-15=10となる。

今後も、四半期ごとに景況調査を実施いたしますので、ご協力の程よろしくお願いたします。
 なお、詳しい指標は、当所ホームページの「景況調査」のページをご覧ください。